

# 建設業における仮設機材に起因する 死傷発生状況(16) ～平成26年発生の死亡災害～

一般社団法人 仮設工業会 事務局

## はじめに

本会の会報において平成25年10月号から下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 平成25年10月号・災害の概要
- (2) 平成26年 1月号・平成22年・機材センター
- (3) 平成26年 2月号・平成22年・脚立
- (4) 平成26年 3月号・平成22年・梯子
- (5) 平成26年 4月号・平成22年・つり足場
- (6) 平成26年 5月号・平成22年・移動式足場
- (7) 平成26年 7月号・平成24年・死亡
- (8) 平成26年10月号・平成23年・機材センター
- (9) 平成26年12月号・平成23年・枠組足場
- (10) 平成27年 1月号・平成23年・移動式足場

- (11) 平成27年 2月号・平成23年・支保工
- (12) 平成27年 3月号・平成23年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台
- (13) 平成27年 9月号・平成25年・死亡
- (14) 平成27年11月号・平成24年・機材センター
- (15) 平成28年 4月号・平成24年・枠組足場

今回は、平成26年における仮設機材に関係すると考えられる死亡災害を、厚生労働省のデータベース(職場のあんぜんサイト)から仮設工業会事務局において取りまとめたものです。

なお、災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する災害防止や教育等にご活用ください。

## ① 機材センター関係 (機材センターに参考となると思われる事例を含む。)

NO	死亡災害発生状況 (平成26年)
1	事業場の資材置き場にて、積載形トラッククレーンの荷台上で足場資材を下ろす作業中、バランスを崩し、荷台に平積みされた足場板上から地面に墜落した。
2	配送先にて、荷降ろしを行っていた際、停車していたトラックが動き出したため、前方に回って止めようとしたところ、道路側面にある隣家の門柱とトラックの間で挟まれた。
3	トラック荷台で玉掛け作業中、荷台の反対側で物音が聞こえたため、見に行ったところ、荷台脇の地上で仰向けの状態で倒れている被災者が発見された。
4	被災者ら複数人が、倉庫中2階の端部に木製手すりを設置する作業中、足を踏み外し、約3m下の1階床面へ墜落した。
5	フォークリフトを運転し、木材の端材が入った鉄箱の運搬作業中、フォークが下降しなくなったため、鉄箱の直下に入り、マストの下部を点検していたところ、下降してきたフォークと地面の間に頭部がはさまれた。
6	資材置き場にて、積載形トラッククレーンを操作して、敷鉄板を移動させようと車体側方で吊り上げたところ、積載形トラッククレーンが吊り荷側に転倒し、荷台の下敷きとなった。
7	フォークリフト運転手が、トラックからアルミパレットの荷下ろし作業を行い、フォークリフトを後進させた際、フォークリフト後部に接近してきた被災者と接触。被災者は後方に転倒し、頭部を地面に強打した。
8	工事現場の資材置場にて、被災者がダンプの荷台と車体との間にはさまれているのを発見された。
9	資材置き場にて、車をバックさせようとした際、ギア操作を誤り、パーキングからドライブに入れアクセルを踏んだところ、車が前進し、前方で資材整理を行っていた被災者をはねた。

10	被災者は、高圧洗浄機を用い、型枠に付着したコンクリートの洗浄作業後、コンクリート打設用の高さ約1.8mの足場から前向きに墜落。死因は肝臓破裂による出血性ショック。
11	フォークリフト運転者が、サイドブレーキを引かずに運転席を離れた際、作業面が傾斜していたため、フォークリフトが斜面を下り、大型トラック方向に動き出し、フォークリフトを止めようとしたフォークリフト運転者である被災者が、フォークリフトと大型トラックの間に挟まれた。
12	資材の荷卸作業中、トラックの荷台の奥から後部荷卸口までの積荷の引き寄せに使用するためトラックの後方に後ろ向きに停車させていた積載形トラッククレーンを、引き寄せが終了したため前進させようとしたところ、運転者が運転操作を誤り後進させてしまったため、トラックと当該クレーンとの間にいた被災者が双方の荷台後部に挟まれた。

## ② 枠組足場関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	高さ約2.3mの外部鋼管足場（枠組）の作業床の上にて、軒下の造作作業中、墜落した。墜落した際、肋骨が骨折し、肺に刺さった。
2	資材を足場最上段から地面に下ろすため、最上段の枠にブラケットが取り付けられた単管パイプをクランプで固定し、ブラケットにロープを引っ掛け、ロープで荷を固縛し下ろそうとしたところ、荷の重さでクランプとともに単管パイプも回転し、ロープを握っていた被災者が墜落した。
3	足場板上にて、足場の組立作業中、同僚とすれ違うため、体を引いたところ、ブレースに接触し、固定されていなかったブレースが外側にはね出し、隙間から体が出て、中間の防音パネルにバウンドした後、1階の土間上に墜落した。
4	枠組み足場組立て中、被災者が約5mほどの高さからハッチ式布板に付属しているタラップで降りていたところ、背中から足場外部に墜落。死因は足場付近の鉄製フェンスにわき腹をぶつけ、大動脈破裂。
5	移動式クレーンを用いて足場の解体工事中、被災者が枠組足場第8層にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面まで14.2mの高さから墜落した。
6	造船所内にて、船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から1層下の3層目の作業床、次いで地面に墜落した。
7	建物の屋上端部から2階のステージ足場上に建枠をロープで降ろす作業を行っていたところ、墜落した。
8	外壁改修工事現場にて、ウィンチで足場の資材を取り込むための段取り作業中、枠組足場9段目から道路側の地上に墜落した。
9	外部足場の解体作業を行っていた際、枠組足場上でジョイント部を外す作業及び玉掛けを行っていた被災者は、引っ掛かっていたユニットのジョイントが外れた衝撃でバランスを崩し、地上へ墜落した。

## ③ 単管足場・くさび緊結式足場関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	外壁塗装工事現場にて、建物外周に沿って組まれたくさび式足場の養生用メッシュシートの取付け作業中、足場3段目の作業床より地上に墜落した。安全帯は未着用であった。
2	介護付老人ホームの新築工事現場にて、外部足場の解体作業中、足場の作業床上で建地単管パイプを引き抜いたところ、バランスを崩し、足場から敷地外の歩道コンクリートへ墜落した。
3	建物解体工事にて、養生用の単管足場の組立て作業中、足場上で作業をしていた被災者が持っていた長さ4mの足場用単管が高圧電線に触れ、感電し、約7mの高さから墜落した。

4	くさび式足場専用の天井クレーンを展示するため、くさび式足場4層目にて、天井クレーンを設置していた被災者は、約8m下の地面に墜落した。くさび式足場の作業床の内側に手すりはなく、安全帯は使用していなかった。
5	沖合の海底土質調査用に単管とアルミ製足場板とでボーリング掘進の櫓を組立て、ボーリング準備のため、櫓のステージに被災者ら3名が上がっていたところ、櫓が傾き、ステージに上がっていた被災者らもろとも海中に倒壊した。被災者ら3名は海中に投げ出され、2名は間もなく浮上し、1名は死亡した。
6	木造3階建住宅の新築工事現場にて、外壁の下地材の取付を行っていた被災者は、高さ5.75mの一側足場の足場板から地上に墜落した。
7	木造2階建ての新築工事現場にて、先行足場の組立作業で高さ約7mに位置する落下防止手摺に連結用ジョイントを差し込む際、手摺にかけていた足元が滑り、バランス崩し、約4m下の基礎の上に墜落した。
8	足場組み立て作業中、足場材である支柱を手渡しで上層へ運搬していた際、手渡された支柱を持ち、クサビ緊結式足場3層目の幅25cmの足場板上を移動していたところ、バランスを崩し、支柱ごと約5.5m下に墜落した。
9	木造建売住宅建築工事現場にて、足場又は屋根から約6m下の地面に墜落した。
10	被災者は、照明等を吊るために設置する支柱を組立て作業中、支柱の8段目（高さ約15m）で移動しようと、支柱に架け渡してあった足場板に足をのせたところ、足場板が滑動し、墜落した。
11	木造2階建の建屋の解体工事にて、屋根のスレート瓦を撤去する作業中、建物の周囲に設置された足場の手すりと屋根の間から下の停められていたダンプの荷台の中に墜落した。
12	マンション外壁改修工事現場にて、外部足場の解体作業中、建地材を持ち、足場作業床を移動していたところ、足場作業床から地面に墜落した。

#### ④ つり足場関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	川にかかる橋の補修工事のための吊り足場の延伸工事中、吊り足場の工事先端から川に足場部材ごと墜落した。
2	橋梁補修工事にて、アーチ部につり足場を設置する作業中、つりチェーンの取り付け箇所の確認のためアーチ上面に上った被災者が滑落し、約15m下の道路上に墜落した。
3	つり足場の解体作業中、足場板の片側の水平緊結用自在クランプが取り付けられていないことに気付かず、その上に乗ったところ、足場板が下向きに回転し、7.8m下に停車していたトラック荷台上に墜落した。
4	被災者は、橋脚上に構築された吊り足場を解体するため、積載形トラッククレーンから吊り下げられたバケットを橋脚上に載せ、バケット内に足場の部材等を積み込んでいた。トラッククレーンを無線操作し、バケットが橋脚から離れたところ、バケットが揺れ、積載形トラッククレーンが横転して、荷台の下敷きとなった。
5	被災者は、梁の建設工事現場にて、横桁架設作業時に底面足場板上から、0.9m上にある主桁下フランジ上面に上ろうとした際、雨が降っており足を滑らせ、吊り足場の足場板上に墜落。そのまま防網上に墜落したが、墜落した衝撃でネット結束部が2箇所外れ、更に約15m下の路面に墜落した。



## ⑤ 移動式足場（ローリングタワー）関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	手すり等のないローリングタワーの上にて、屋根の鉄骨及び屋根材を溶接後、溶接位置を移動しようとして躯体を掴み、自力でローリングタワーを横移動させていたところ、脚輪が固定されておらず、ローリングタワーが転倒。約4 mの高さからコンクリートの地面に墜落した。

## ⑥ 脚立関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	国旗掲揚台上に脚立を設置し、国旗掲揚台の掲揚ポールに掛かっていた松の木の枝を脚立天板に跨り、高枝剪定鉋に付いている鋸で枝を切っていたところ、バランスを崩し、掲揚台の下のコンクリート上に墜落した。被災者は、保護帽を被っておらず、安全帯も着用していなかった。
2	庭木の剪定作業中、コンクリートの邸内の道路上に倒れている被災者が家人により発見された。災害発生前には植木作業で使用される脚立（3角形の梯子を一本の支柱で支えたもの）の上で植木剪定用のヘッジトリマーを使用していた。
3	調理部屋にて、明かり取り用の窓に日差しよけビニールを付けようと脚立を使い、梁に上がったところ、転落して頭部を強打した。
4	脚立を使用し、個人宅の樹木伐採作業中、幹の切断作業を天板上で行っていたところ、地上約3.5mの高さから墜落して顔面等を強打した。作業時に、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。
5	脚立を用いて植木の剪定作業中、脚立上から転落した。
6	防波堤コンクリートブロックの型枠組立の作業中、H鋼製型枠横端太にフォームタイを取付けるためH鋼製型枠端太と脚立天板に片足ずつを掛けて作業をしていたところ転落し、既設防波堤から突き出ている鉄筋が腰部に突き刺さった。
7	空調リモコン取付作業中、剥がしておいた天井板を復旧するため、高さ1.6mの脚立を使用し、充電ドライバーでビス止め作業を行っていたところ、バランスを崩し、木組床面に墜落した。
8	被災者は、耐震補強の鉄筋アンカー施工後の鉄筋アンカーを垂直に調整する作業を脚立足場上で行っていたところ、足場上でバランスを崩して床面に設けた鉄筋アンカー上に墜落し、被災者の体にアンカーが突き刺さった。
9	庭の植木剪定作業中、3 mの三脚脚立に上り、電動ノコギリを使用し、作業を行っていたところ、バランスを崩し、アスファルト上に墜落した。
10	ベニア貼り作業中、高さ147cmの脚立足場から墜落した。
11	下水処理施設の新築工事現場にて、脚立とバールを使用し、外部型枠材解体作業中、コンクリート床面に倒れている脚立と被災者を同僚が発見した。
12	畳んだ状態で棚にもたれかけさせた脚立（最高高さ約1.1m）に上り、棚に載せてあったトイレトペーパーの箱を降ろそうとしたところ、脚立ごと転倒し、頭部を床面で強打した。
13	鉄骨階段の塗装作業中、脚立と階段の支柱との間に架け渡した足場板の上で塗装作業を行っていたところ、鉄骨階段上に墜落した。
14	ビニールハウス（上部が三角形の形状）の骨組みの正面部分にビニールシートを貼り付ける作業中、三脚脚立（3 m脚立）を使用し行なっていた際、バランスを崩し、墜落した。

15	新築工事現場にて、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため高さ2.7mの脚立を上っていたところ、転落した。
16	教室の窓のクリーニング作業中、4階庇に脚立を立てて教室の窓の外側の清掃作業を行っていたところ、地上に墜落した。当該庇には手すりがなく、親綱等を含め墜落防止措置を講じていなかった。

## ⑦ はしご関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	灯油の配送作業中、屋外に置かれた灯油タンクに給油するため、隣家との境界に設けられた塀に片足をかけ、もう片足を灯油タンクに架けられた木製のはしごの踏みさんにかけてたところ、踏みさんが折れて、はしごから転落し、はしごの縦木に胸部を強打した。
2	被災者は、天井部分のH鋼にはしごをかけ、断線箇所の確認作業中、同僚がはしごを支え、被災者がはしごを昇ったところ、はしごが真ん中から折れ、墜落した。
3	外壁清掃作業中、アルミ製の移動はしごから下りようとしたところ、曲面状の柱に立て掛けていた移動はしご脚部下端が滑動し、移動はしごとともに高さ約1.7mから地面に墜落し、胸部等を移動はしごに強打した。
4	テレビの配線工事中、3階のベランダで作業を開始した後、3階屋根又は移動はしごから転落した。
5	屋根雨漏り補修工事にて、梯子から屋根に移ろうとした際、バランスを崩し、3m下の地面へ墜落した。
6	足場上の道具箱を足場昇降設備である移動はしごから手を伸ばし、取ろうとしたところ、足を滑らせ、3.67mの高さから墜落した。
7	結婚式場の窓ガラスの清掃中、2連梯子を窓枠に立てかけ、登っていたところ、バランスを崩し、2連梯子が傾くと同時に高さ約5.4mから墜落して落下地点に置かれた鋼製パラソル支柱に頭部を強打した。
8	屋根に太陽光パネルを設置する工事にて、荷揚げ機の設置中、手に荷揚げ機の頭部（荷揚げ機のレール部分の頭部）を持ち、移動梯子（荷揚げ機のレール部分）を上っていたところ、梯子が横にずれて屋根（雨樋）から外れ、コンクリートの地面に墜落した。梯子の下部は同僚が押さえていたが、被災者は保護帽を被っていなかった。

## ⑧ 型枠・土留め支保工関係

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	排水管布設用の溝の掘削作業中、床付け面の深さを測定するため被災者が箱尺を持ち、溝内に立ち入ったところ、片側の地山が崩壊した。尚、土留め支保工用の資材が現場脇に用意されていたが、使用していなかった。
2	型枠のリムを足掛かりに高さ1.5mまで上り、高さ3.5mの砂防擁壁の型枠の脱型終了後、下流方向に移動していたところ、地上に置かれていた鋼製型枠に顔を打ち付け、転倒した。
3	エレベーターピットのコンクリート型枠の解体作業中、意識不明の状態ですぐに倒れている被災者が発見された。
4	トラッククレーンで根太材用の単管パイプ100本を躯体外周の大引きの上に置き、被災者が玉はずしの作業を行っていたところ、支保工が外側に向かって崩壊。被災者は高さ約3.9mの位置から墜落し、落下した根太材の下敷きになった。
5	3階に設置された壁型わく材をクレーンで吊り上げ、4階外壁に建て込もうとしたところ、4階に設置していた壁型わく材に接触し、4階の壁型わく材が落下。約3m下の足場上で、吊り上げた壁型わく材を固定していた角材を壁から外していた被災者に接触し、パネルとともに約4m墜落した。

## ⑨ その他関係（足場の種類が不明なものを含む。）

NO	死亡災害発生状況（平成26年）
1	足場解体作業中、地上へ降りようと足場上を移動していたところ、足場から墜落した。
2	屋根の防水工事中、同僚1名と被災者が足場の階段を使用し、地上から2階に登った際、先に登った同僚が足場2段目で下を見たところ、地上で被災者が倒れているのを発見した。死因は頭部外傷。被災者は保護帽を着用していなかった。
3	マンションの外壁改修工事現場にて、足場の解体作業中、足場6層目より建物2階の底に墜落した。被災者は安全帯は着用していたものの、使用しておらず、親綱等の設置もなかった。
4	新築工事現場にて、外部足場上で4階外壁の飾柱部分の配筋作業中、15.5m下の地上へ墜落した。
5	大講堂内に組み立てられていた内部棚足場の解体作業中、棚足場上で足場板を外そうとしたところ、2.65m下のコンクリートへ墜落した。
6	改修工事にて、ビニール養生を撤去していたところ、足場から体育館2階の歩廊に墜落した。
7	工場建屋のスレート屋根の補修工事中、明かり窓まわりに敷いた足場板を足場にして作業を行っていた際、明かり窓上に身体が移動したところ、明かり窓を踏み抜き、約9m下のコンクリート上に墜落した。
8	被災者は、コンテナ反転機の専用足場上がり作業後、昇降設備を使用せず、反転機の下方を囲む金属板に沿って降りていたところ、金属板上面の縁で足元が滑り、床面に墜落し、近接するコンベアの金属板に胸部を強打した。
9	ビルの解体工事現場にて、外部足場のタラップを使用し、地上に降りた際、躯体と外部足場のすき間に墜落した。
10	ロングスパンエレベーター設置におけるガイドレール取付用足場の組立て作業中、足場上の被災者が大組足場を受け取り、足元の足場に緊結していたところ、墜落した。
11	被災者は、屋根吹き替え工事現場にて、外部足場の落下防止シートを設置していたところ、墜落した。
12	鉄骨鉄筋コンクリート製の躯体の配筋作業中、躯体鉄骨から張り出された鋼製のアングルによる鉄筋用足場兼鉄筋仮置き架台に鉄筋を載せ、さらに足場部分に同僚3名が乗って作業していたところ、アングルが変形して、積載鉄筋が落下し、架台の下で作業中の被災者が下敷になった。
13	4階に設置された足場を解体作業中、バランスを崩し、2階吹き抜け部分に足場と一緒に約12m墜落した。
14	屋根、外壁塗装工事現場にて、洗浄用の養生シートを張る作業中、足場から高さ約5m下の敷地に墜落した。
15	外部足場の解体作業中、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。
16	木造平屋建て事務所の新築工事現場にて、被災者は同僚と6名で、幅11cmの梁及び梁と梁の間に架け渡した幅24cmの足場板の上で、雲筋と呼ばれる柱や梁の歪みを防止するための筋かいを取り付ける作業を行っていたが、バランスを崩し、3.05m下のコンクリート土間に墜落した。
17	4階建て既設ビルの外部改修工事のための外部足場の組立て作業中、被災者は、足場の6層目にて足場外側に張るための養生シート等を滑車を用いて手で荷揚げしていた際、11.35m下の地面に墜落した。足場には高さ86cmの手すりのみ外周側に設置されており、中さん、幅木及び養生シートは設置されていなかった。また、安全帯は着用していたが使用していなかった。